

職場に残そう、労働運動！

国労千葉地本運輸区統合分会 SOGA班新聞

第184回拡大地方委員会①

3月2日(土) 13時〜地本会議室

組織率の低下により、地本内でも昨年大幅な分会再編が行われ、新しくなった各分会で創意工夫しながら運動を進めていることと思います。以前27あった分会も再編を重ね、今年の地本大会時から7つに縮小されての開催となりました。縮小ではありますが、弱小とならぬよう、少数でも出来ることを考えながら前進していきたいものであります。

議長選出

本委員会の議長には、幕張電車区分会の十文字靖さん(62歳・CTS)が選出され、議事が進行していきます。

あいさつの中で「若い社員の離職率が高い。家族を持って生活するのに



冒頭、能登半島地震による被害者へのお悔やみの言葉、カンパ協力のお礼、北陸中央本部からのお礼の報告、そんな中で、組合員も避難生活を強いられている人がいる旨の報告がありました。

不安な会社である」といった報告がありました。

十文字さん、お疲れさまでした。ありがとうございました。

加藤委員長あいさつ

冒頭、能登半島地震による被害者へのお悔やみの言葉、カンパ協力のお礼、北陸中央本部からのお礼の報告、そんな中で、組合員も避難生活を強いられている人がいる旨の報告がありました。



この間、組織強化拡大を目的とした分会再編を行ってきた。組合でなければ出来ないことを地域から作り上げていく。ダイヤ改「正」提案は生活スタイルを変更せざるを得ない、子育て支援の中で不便になっていく等々、自治体の怒りも買い、多くの反響を呼んだ。

安全問題では、停電事故とその後の復旧時の際の感電死事故が発生し、重大な事故が続くことで、異常事態と言わざるを得ない。会社は、利潤のみを追求し、いかに人を使わずに押し進めるかといった施策ばかりだが、公共性を一番に考えるべきである。

頑張れ、中島くん！

このあとの活動方針案の中では、春闘に関する中央での団体交渉に千葉地本を代表し、執行委員である中島英一さん(地本業務部長、平成探函国駅)が出席することが報告されました。平成探組合員の活躍を心より応援します……！

地本より事務的な報告とお願い

① 組合員のご家族(1等身まで)に不幸があった場合について・・・関係職場には訃報が掲示されると思いますが、「家族、親近者のみで執り行う」といった記載事項があっても、地本より弔辞を送る都合の関係で、地本に報告してほしいとのことです。

② 組合員が早期退職や、移動(転勤)した場合、あるいは勤務形態が変更となった場合(例えば短日勤務に変更や、エルダーからパートに変更した等)速やかな報告をお願いします。特に後者は、組合費の変更が生じるため必須です。

①②共、その職場、あるいは分会の代表が責任を持って対応して下さい。

③ 物流関係の2024年問題は、昨今の報道でご存知かと思いますが、地本より発送される各資料、指示文書、新聞等々の発送で、以前はヤマト便を利用していたが、宅配から撤退し、現在は郵メールとなりました。が、取り扱いが複雑で、制限も非常に厳しく、金額も上がったとのことです。最善策を模索中のようですが、各職場、分会でも協力体制を作り、地本役員を支えていただけたらと思います。

よろしくをお願いします